

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 20日

事業所名 カラーズFC鳥栖

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	3	2	1	勉強スペースや余暇スペース、相談室などを設けています。	
	2	職員の配置数は適切であるか。	5	0	1	日々適切に人員配置が出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか。	1	2	3	階段や段差を無くし、バリアフリー化が出来ている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	0	朝礼などで振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	保護者の要望と児童の要望を取り入れ改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか。	3	3	0	毎年欠かさず行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	0	内部監査を実施している。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	社内研修、アクティビティ研修など幅広く行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2	0	半年ごとにアセスメントを実施し、それぞれ専門性の違うスタッフが多角的な視点で分析できるようにしている。	
	10	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	2	0	日々模索中ですが、より良くするためにさまざまなツールを使用していきます。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	0	当日の担当が作成し、ミーティングで改善を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	0	日々違うテーマでプログラムを実施している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援を行っているか。	6	0	0	休日は目的を持ってイベントを実施している。	
	14	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	特性やニーズに応じた計画書の作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5	1	0	朝礼時に確認を行っている。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	1	0	その日の振り返りに関しては翌日の朝礼時に行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	HUGシステムでの記録登録、公開、改善を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画のモニタリングの見直しの必要性を判断しているか。	5	1	0	面談を行い、多角的に目標の達成度を判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	4	2	0	基本的に管理者が出席するが、かかわりの深いスタッフも同席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時間等の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	2	0	お迎え時間を間違わないように保護者に時間の確認を取っている。送迎時のトラブルも、指示役が中継としている為、代替案や緊急時の対応もしやすくなっている。	
	22	医療的ケアが必要なこどもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか。	2	3	1	医療機関と提携し、緊急時は連れて行くようにしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5	0	今後は新一年生の利用も増えるので情報共有を行っていきたい。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	2	4	0	移行支援会議への参加し、児童の課題の共有や支援ポイントを伝えている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	2	0	児童の課題達成のため、連携して支援を行うよう努めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。	3	3	0	対外試合の参加	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	3	0	子ども部会への参加	
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	0	家庭では見えない様子や成長している点を報告している。保護者の子供に対する困り感を聞いて、支援に盛り込んでいる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	3	3	0	ペアレントトレーニングとして親子サッカーを実施しているが、年に一回の開催なので頻度を増やしていく必要がある。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	2	0	運営規定は契約時に、支援内容は申し送り時、利用者負担は口頭では説明できていないが、請求書を発行している。不明点がある場合は連絡を貰うようにしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	送迎時やお電話でお悩みの相談を受けることが多いので、その場で援助または専門性が必要な際は持ち帰り、スタッフで共有して解決を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	1	4	1		
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	5	1	0	担当していたスタッフから情報を確認し、迅速に対応し改善に努めている。	
	34	定期的に会報等を発刊し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	3	3	0	連絡帳アプリにて、イベントの案内を出している。	
	35	個人情報に十分注意しているか。	6	0	0	関係機関に活動状況はお伝えをしているが、個人情報の取り扱いには十分気をつけている。	
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	5	1	0	特性に応じて手段を変えながら対応している。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をはかっているか。	0	4	2		
	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	1	0	契約時にお伝え、書類をお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか。	5	1	0	地震、火事を想定した訓練を職員で行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	外部講師による虐待防止研修を実施しており、職員の対応力を上げている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	4	0	身体拘束の勉強会を実施しているとともに、契約時に説明し了承を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	0	食事の提供を行っていない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	5	1	0	ファイル作成を行い、事業所で共有出来ている。	